

聖地のこどもニュース

# オリーブの木

No. 73

2019年 7月



▲オリーブの木の前で無邪気に遊ぶ女の子(ラマツラ)

欧米などとイランとの核合意の行方にくらべ、最近はあまり注目されないイスラエル・パレスチナ紛争ですが、人々の苦しみはむろん尽きることがありません。イスラエル市民はロケット弾やテロ攻撃に怯え、パレスチナ住民は不当逮捕をはじめとした人権侵害に晒されています。6月にも、エルサレムのモスクに祈りに行くために分離の壁を越えようとした若者が射殺されました。住民を路頭に迷わせる家屋破壊や土地接収などの具体的な事実が日本で報道されることはほとんどありません。報道の偏りがもたらす人々の無関心も、紛争を長引かせ、平和へあゆみを難しくする原因の一つです。

イスラエル・パレスチナの若者たちが、また日本で「平和の架け橋」を築きます。皆様、どうぞ彼らを応援してください。彼らの「平和への渇き」に耳を傾けてください。温かいご支援を心からお願いいたします。

井上 弘子



認定NPO法人  
**聖地のこどもを支える会**



当NPOは、国際協力NGOセンター(JANIC)によるアカウンタビリティ・セルフチェックを受け、基準の4分野(組織運営・事業実施・会計・情報公開)について適正に運営されていると審査されました。

事務局 〒164-0003 東京都中野区東中野 5-8-7-502 **Email** [ispalejpn@gmail.com](mailto:ispalejpn@gmail.com) **TEL/FAX** 03-6908-6571

ご支援は… 郵便振替 **00180-4-88173** 加入者名 「NPO法人 聖地のこどもを支える会」

当法人へのご寄付は、税制優遇が受けられます。

<http://seichi-no-kodomo.org>

# 平和の架け橋プロジェクト2019 いよいよ始動!

今夏のプロジェクトは、8月7日から22日まで、仙台、長野、東京で行われ、イスラエル・パレスチナから計9名、日本人学生3名が参加します。宗教も生活習慣も違う若者たちが2週間の共同生活の中で、「平和共存」は可能だということを実感し、友情の絆を結ぶことが目的です。同じ畳の部屋で雑魚寝をし、同じ釜の飯を食べ、ディスカッションやボランティア活動をとおして互いに理解し合うことを学びます。

## 事前研修

東京とエルサレムで、2日間にわたり、事前研修を行いました。イスラエル・パレスチナ紛争の歴史的背景、原因や現状を把握し、このプロジェクトの目的や意味について認識を新たにしました。さらに互いの国の文化や伝統についても学びました。

紛争と平和についてのアンケートから、「どうすれば平和が実現できると思うか?」という質問に対する彼らの答えをご紹介します。

—**マタン**:互いに知り合うことは大きな一歩、しかし友だちになればさらに大きな一歩となる。誰でもみんな「人間」であることを心に留めること。あなたの周りの憎しみや恐れがどんなに大きくても、平和の実現を固く信じ、希望を持ち続けること。

—**パトリシア**: 私たちには平和を実現する力があり、世界を変える力があると信じている。私たちの住むパレスチナが今どんな状況にあらうとも希望を失ってはならない。私はあの小さな「からし種」には大きな木に育つ力があると信じているから。平和の架け橋を築くには、互いに出会い、相手の文化や伝統、メンタリティを知る必要がある。もっとも大切なのはコミュニケーションを取ること、多様性を尊重し合い、受けいれ合うことだ。

—**オール**: イスラエルの有名な作家アモス・オズはこう言う。「目的は、イスラエル人・パレスチナ人一人ひ

とりが『あなたが正しい。私が悪い』と言うことではない。双方のギャップを埋める最初の一步は、イスラエル人・パレスチナ人一人ひとりが相手に対して、『私たちは考え方が違っても、あなたの苦しみは分かる』と言えることだ。」私は、教育という基盤があってこそこのような共感を持つことができるし、根底からの変革も可能だと信じている。

—**マラック**: 私たちは常に紛争や平和交渉の行方について最新のニュースを知っておかねばならない。もしかしたら、ほんの小さな出来事が、事態打開の突破口になるかも知れないからだ。もう一つ大切なことは、この日本での「平和の架け橋プロジェクト」のように、互いの意見を述べ合い、異なる見方もあると認識することが大切である。敬意を持つての対話は、非常に実り多いと信じている。

---

## プロジェクトの活動の一端をご紹介します

### 仙台:

- 有名な七夕祭りで原爆禁止を訴える『平和七夕』に参加、折り鶴のレイを配るボランティア活動。
- 南相馬で震災や津波、原発事故について学ぶ。
- 市民の皆さんとお国自慢のダンスや歌で交流。

### 長野:

- 善光寺で仏教体験。盆踊りにも参加!
- お年寄りや子どもたちと楽しく交流。
- ホームステイで日本の「おもてなし」を体験。
- 市民とのイベントで「平和のメッセージ」を発信。

### 東京:

- プロジェクトの集大成。平和のために働く決意。



エルサレムでの事前研修: 南中そうらん節の練習風景。みんな筋肉痛になった!

「平和の架け橋プロジェクト2019」への皆さまのご支援をお待ちしています!



# 平和の架け橋交流会

おしらせ

プロジェクトの中で実施する交流会です。3ヶ国の若者が平和のメッセージを発信、ご当地の皆さんと楽しいひとときを過ごします。お近くの方、ふるってご参加ください。

**@仙台**

**8月11日(日)**  
11:00~15:00

**カトリック元寺小路教会**  
(JR仙台駅から徒歩約8分)

**@長野**

**8月17日(土)**  
13:30~16:00

**長野ボランティアセンター**  
(長野市役所隣り)

プログラム

パイプオルガンコンサート(仙台会場のみ)

「平和を願う」パイプオルガンの響き

by ヤクース・ガザウィ (エルサレム・聖墳墓教会首席オルガニスト)



みんなで  
イスラエル・パレスチナの  
軽食タイム

ひよこ豆のヘルシーコロケ(ファラフェル)、  
アラビックコーヒーなどお楽しみください

ご当地の皆さんと文化交流

3カ国伝統のダンスや歌、平和のメッセージ、対話交流…

**いずれも入場無料** (会場でお志を募ります)

お問い合わせ **090-6538-3255** (井上)

## 「平和の架け橋プロジェクト2019」支援イベント

### 出川展恒氏講演会『聖地・中東の今を知る』

NHKの出川展恒解説委員による講演会が7月14日(日)、今年はカトリック吉祥寺教会と聖イグナチオ教会の2か所で開かれました。イスラエルの総選挙とイラン核合意をテーマにした講演の要旨は以下の通りです。

#### 【1】イスラエル総選挙とパレスチナ問題

**中東和平・パレスチナ問題の解決は、なぜ重要なのか**

パレスチナ問題は中東の多くの問題と深くつながっていて、この問題が解決されない限り、中東に平和と安定が訪れることはありません。1948年のイスラエル建国後、パレスチナ人の多くが難民となり、あるいはイスラエルの占領下に置かれてきた彼らの苦悩は、70年続いてきたわけです。長い対立・抗争を経て93年9月、「パレスチナ暫定自治合意」(通称、オスロ合意)が調印されました。その最終的な目標は、パレスチナ人の独立国家をつくり、イスラエルと平和共存させること。すなわち「2国家解決」です。ところが、双方の暴力や不信任感によって和平交渉は度々中断し、今も中断したままです。もし中東和平交渉が完全に崩壊すると、話し合いによるパレスチ



ナ問題の解決は不可能となり、暴力が暴力を、報復が報復を呼んで周辺地域や世界各国を巻き込んだ形で紛争が拡大し、止められなくなる危険性が高いのです。

#### 右派政権継続か政権交代かが問われた選挙

イスラエルで通算4期13年首相を務めてきたネタニヤフ氏の、選挙戦のライバルはガンツ元軍参謀総長でした。イスラエルでは安全保障が最大の関心事で、軍を取りまとめられる人物への信頼は厚く、軍のトップが政界に出ることは珍しくありません。ガンツ氏は、ネタニヤフ氏が汚職疑惑で捜査を受けていることを批判し長期政権に終止符を打つべきだと主

張。さらに、強硬一辺倒のネタニヤフ政権のもとではパレスチナとの和平交渉が完全に頓挫し、将来にわたって国の安全が確保できないとして、和平交渉を再開すべきだと訴えました。

これに対しネタニヤフ氏は、トランプ米大統領が米大使館をエルサレムに移し、エルサレムを首都とするイスラエルの主張を認めたこと、シリアから奪ったゴラン高原をイスラエル領と認めたこと、また、イラン核合意から離脱したことを、すべて自分とトランプ氏との信頼関係がもたらしたとし、自分だけがイスラエルを守れると主張しました。

事前の世論調査では、リクードは劣勢と見られていました。それが、トランプ大統領の援護で盛り返したのです。また、ヨルダン川西岸のユダヤ人入植地をイスラエル領にする方針を示して極右票の取り込みを図ったほか、ガンツ氏を「パレスチナに対し弱腰」とするネガティブキャンペーンを展開しました。

#### ※聖地エルサレムの帰属問題：

エルサレムは1967年の第3次中東戦争でイスラエルが占領し、パレスチナ人居住地区の東エルサレムも含めて一方的に併合を宣言しました。パレスチナ側は東エルサレムを「将来のパレスチナ国家の首都」と主張し、「イスラエルは国際法に違反して占領を続けている」と非難しています。また、そこに含まれる旧市街は諸宗教の聖地の混在地であり、占領は様々なアイデンティティーを刺激して和平交渉を崩壊させかねません。トランプ大統領が去年、エルサレムをイスラエルの首都と認め、米大使館をテルアビブからエルサレムに移したのは、自らの再選戦略、つまり、自分の支持基盤であるキリスト教福音派の人たちを喜ばせて、支持固めを図ろうという意図が読み取れるのです。

#### ※ゴラン高原の主権問題：

元はシリア領だったゴラン高原はイスラエルの国土を見下ろす戦略上の要地で、イスラエルが第3次中東戦争で占領し、81年に一方的に併合を宣言しました。国際社会は、ゴラン高原からの撤退をイスラエルに要求してきましたが、トランプ大統領は今年3月、ゴラン高原に対するイスラエルの主権を認める宣言に署名してしまったのです。背景にはシリアの内戦があります。アサド政権を支援するイランがシリアに派遣した革命防衛隊などの軍事組織が、ゴラン高原の近くでも活動しイスラエル軍との武力衝突も起きています。イ

ランを最大の脅威と見るネタニヤフ政権は、ゴラン高原に対するイスラエルの主権を認めるよう、トランプ政権に働きかけてきました。

### 「ネタニヤフ首相続投へ」が一転、再選挙へ

開票結果では、ネタニヤフ氏が党首のリクードと中道統一会派の青と白が35議席で並びました。とはいえ、多数の党派が乱立し組閣には連立が不可欠な中、ネタニヤフ政権の連立仲間である右派と宗教政党を合わせた議席が65になり国会の全議席120の過半数を占めるため、ネタニヤフ首相の続投が有力となったのです。実際に大統領が組閣を指示したのはネタニヤフ氏でした。ところが、対パレスチナ強硬派の極右政党イスラエル我が家のリーバーマン党首が、厳格なユダヤ教信奉者の神学生の兵役免除を許さないとする法案を強く主張。これに反発する宗教政党との調整ができず、どちらの政党が抜けても過半数を確保できないという状況のまま、組閣期限の5月29日を迎えてしまったのです。

結局、国会は自ら解散する法案を採択し、9月17日に再選挙と決まりました。

### 再選挙後のパレスチナ問題の行方

アメリカのトランプ大統領は11月にも、パレスチナ問題の独自の解決案を発表するとみられています。娘婿でユダヤ教徒のクシュナー上級顧問が作成した案は、2国家共存にこだわらずパレスチナ自治の継続を考え、アラブ産油国などの巨額の援助で経済の自立を支えるというものようです。パレスチナ側が「占領の正当化でしかない」と反発するのも当然です。

やり直し総選挙の結果を予測するのは難しいものの、イスラエル社会の右傾化を反映して、結果はあまり変わらないかもしれません。再びネタニヤフ政権となれば、極右政党の支持をつなぎとめるためにユダヤ人入植地のイスラエル併合などを約束することも考えられます。入植地はヨルダン川西岸に140カ所もあり、それだけの土地を失えばパレスチナ国家の可能性はなくなり、パレスチナ人の大規模な抗議行動や武力衝突につながる危険性もあります。

## 【2】危機に立つイラン核合意とペルシャ湾情勢

イラン政府は7月7日、ウランの濃縮度を合意で決められた制限を超えて引き上げると発表しました。アメリカが制裁を強化して合意を破ったのだから、イランも合意を順守しないと、対抗措置に踏み切ったのです。中東地域での核不拡散と緊張緩和に寄与するはずだった核合意の、存続が危ぶまれる事態となっています。

核合意は2015年7月、イランがアメリカなど6カ国と結びました。イランが核開発を大幅に制限する見返りに欧米による経済制裁を解除するというもので、ウラン濃縮度を3.67%以下に抑えるというのがポイント。核分裂を起こすウラン235を遠心分離機で濃縮する場合、3～5%なら原発の核燃料用の範囲内ですが、イランが「医療用」として目指していた20%まで引き上げる技術を得ると、核兵器に利用できる90%まで高度化するのが容易になるといいます。

トランプ大統領は「合意の期限が切れればイラン

は核開発する。欠陥だらけの合意だ」として去年5月に合意を破棄し、イランからの原油輸入禁止などの経済制裁を発動しました。イランの対応は、国内の対外強硬派からの突き上げがあり対抗策をとらざるを得ない一方で、濃縮度の引き上げは核開発を疑われない範囲にして経済面での見返りを期待する、という瀬戸際外交です。

しかし、十分な見返りは期待できず、かといって相手が合意を守らない、つまり制裁を解除しないのに、自分たちだけ守ることはできないという危機的状況。イラン危機は、原油輸送の要路ホルムズ海峡の危険という、日本にとっても死活問題を意味します。現にタンカー被害やイランによる米軍の無人偵察機撃墜という、一触即発の情勢です。日本をはじめ国際社会は核合意を崩壊させないよう、イラン経済を支える方策を考えるべきだと思います。

出川展恒 (のぶひさ) 氏：1985年、NHK入局。91～92年テヘラン、94～98年エルサレム、2002～06年カイロの各支局長を経て06年7月から中東・アフリカ・イスラム地域担当の解説委員を務める。

## イスラエル連立工作成らず、9月に異例の再選挙へ

村上 宏一 (当法人理事・元朝日新聞中東アフリカ総局長)

前号で、4月9日に実施されたイスラエル総選挙の結果、右派色の強い連立政権が継続することが確実、と書きました。ところが、大統領から首相候補として組閣を指示されたネタニヤフ氏が連立工作に失敗、結果として異例の早期再選挙が実施されることになりました。4月の選挙で国会の議席の過半数を得た右派・宗教政党がいずれもネタニヤフ氏を首相に推薦したものの、政党同士の意見の対立を克服できなかったためです。仕切り直しの選挙は9月17日に投票されますが、パレスチナ和平をめぐる議論よりも右派政党間の議席の奪い合いなどが焦点になりそうな情勢です。

### 超正統派の徴兵めぐり対立

連立工作が失敗した経緯を追う前に、4月の選挙の結果、ネタニヤフ氏の下に結集するとみられた政

党を確認すると(カッコ内は議席数)、ネタニヤフ氏が党首を務めるリクード(35)とクラヌー(4)、右派連合(5)、イスラエル我が家(5)の右派・極右政党。それにシヤス(8)、ユダヤ教連合(8)の宗教政党です。このうちイスラエル我が家が、超正統派ユダヤ人の徴兵免除を制限する法案を支持するようネタニヤフ氏に要求。応じないなら連立に加わらないと主張し、この法案に強く反対する宗教政党との妥協を拒否したため、組閣は不調に終わったのです。

ちなみに「超正統派」と呼ばれるのは、ユダヤ教の戒律を厳格に守る宗教派ユダヤ人のことで、神学校で学ぶ超正統派の学生たちは兵役を免除されてきました。こうした宗教的な特例が認められるのは、宗教派は人口では少数派ながら、宗教政党が国会で常に一定程度の議席を握り、連立政権を成立させるのに欠かせない勢力であり続けるからです。

安息日とされる土曜日に商店の営業や公共交通が原則休止となるなどの宗教的制約が定められているのも、宗教政党を連立政権につなぎとめるためにその主張を聞き入れるからです。

一方、イスラエル我が家も、5議席の少数勢力ながら、国会で過半数の61議席以上を制しネタニヤフ政権を成り立たせるのに欠かせない政党です。去年11月に国会が解散、この4月に総選挙となったのは、6議席を保有して与党の一角だったイスラエル我が家が連立を離脱し、与党が国会の過半数をわずかに1議席上回るだけの不安定な状態に陥ったからでした。選挙後の議席配分でも、選挙前と同じ右派政権を作るにはイスラエル我が家を取り込めないと連立与党の議席数は60にしかありません。

去年、イスラエル我が家が連立を離れたのは、パレスチナ自治区ガザのイスラム原理主義組織ハマスに対する攻撃が手ぬるいと首相を批判してのことでした。強硬派の度合いの違いはあっても、国の安全保障を優先しパレスチナ側との対話に消極的なのがネタニヤフ政権と与党の共通基盤です。その点ではイスラエル我が家のリーバーマン党首も、自分たちは本来的にネタニヤフ与党であると称して、大統領に対しネタニヤフ氏を首相候補に推薦していました。ネタニヤフ氏も連立工作には楽観的だったようです。

ところが、超正統派学生の徴兵問題では、リーバーマン党首は頑として譲らなかったのです。5議席は是非とも必要。しかしその主張を認めると、宗教政党が黙っていません。選挙で二つの宗教政党は計16議席を獲得、選挙前より4議席も増えたのです。抜けられたら過半数どころではなくなります。妥協の余地はないまま、組閣の期限である5月29日を迎えてしまいました。

首相候補に指名された人が連立工作に失敗した場合、大統領は別の候補者に組閣を指示する道もあります。リクードと同じ35議席を獲得した中道左派党派「青と白」の代表であるガンツ元参謀総長が、一番の候補となる可能性があります。ネタニヤフ氏側はそれを嫌い、国会が自ら解散する法案を提出し、可決させてしまったのです。こうして国会が

自ら解散し、総選挙後にすぐまた1年以内に選挙という、イスラエル史上初の事態となりました。

### 宗教派優遇に不満な世俗派

イスラエル社会を分断する対立軸の一つは、パレスチナ側との和平を追求するか治安重視の強硬姿勢をとるかの問題です。もう一つの大きな問題は、宗教をめぐるものです。前に述べた、宗教政党が連立政権を成立させるか否かのカギを握ることで宗教的要求を認めさせるという実情に、世俗派、つまりユダヤ教の戒律に頓着しない人々は強く反発しています。自分たちが18歳から、時に命を懸ける兵役に就いているのに、神学校にいれば兵役を免除され、しかも政府から助成金を受ける。子どもが多ければ税金面で優遇される法律ができ、「産めよ、増えよ、地に満ちよ」（創世記）で概して子だくさんの宗教派には有利なのに対し、共稼ぎなどで比較的少子家庭が多い世俗派は「兵役の義務を果たしているうえに税金を多く払わされる」と不満顔です。

イスラエル我が家は、パレスチナ問題では強硬右派である一方、宗教面では世俗派です。この党の支持者には旧ソ連・ロシアからの移民が多く、出身地で身に付いた食習慣がユダヤ教の食物規定に沿わないため宗教派からの非難にさらされてきました。また、ユダヤ人口を増やそうとイスラエル政府がロシアからの移民をどっと受け入れた際、母親がユダヤ人というユダヤ人の条件が厳密に当てはめられず、親族にユダヤ人がいるというだけで母系の血のつながりが不確かな例もあった、という問題があります。特に超正統派からはユダヤ人であることを疑われ、ロシア系移民の宗教派に対する反感に輪をかけています。イスラエル我が家は、支持者たちの感情を代弁するだけでなく、世俗派一般の支持も得られると踏んでいるかもしれません。

超正統派の兵役免除に対する批判が強まり、神学生を徴兵する法律がここ数年議論されてきました。しかし宗教政党の反対が強いため徴兵の対象者が限られていたり、罰則がなかったりで推移してきました。1年前、罰則を伴った新たな徴兵法案の審議が始まり、イスラエル我が家はこの法案を通過

# 日本の支援者の皆さま、ありがとう!

おかげさまで、この1年間、延べ134名の生徒が学校に通うことができました。

所在地・学校名	支援できた生徒数
●エルサレム	
聖ディミアナコプト学院	20
聖ヨゼフ学院	10
テラ・サンクタ学院	10
ラサール学院(キリスト教修士会)	8
聖ディミトリオス スクール	6
聖ジョージ学院	4
聖タルクマンハス学院	4
プリンセス・バスマ学院	2
シュミット スクール	2
スパニッシュ スクール	2
●ラマツラ	
聖ジョージ学院	5
福音派ルター学院	2
●ベツレヘム	
エフェタ聴覚障害児スクール	10
ダルアルカリーマ学院	10
シーラ学園	8
エルサレム学院	2
●タイベ	
ギリシャ正教学院	14
カトリック大主教区学院	5
● Beit-Jara	
聖アフラム学院	8
●その他	2
合計	134

一層の支援をお願いいたします!



させることを、入閣の絶対条件にしたわけです。この姿勢は支持基盤の有権者だけでなく世俗派一般からも歓迎されるでしょう。ただし、パレスチナ側に対する強硬な姿勢は、和平支持派の人々から受け入れられません。

その和平支持派が期待を寄せたとされる中道左派の青と白は、4月の選挙でリクードと同じ35議席を得ました。ネタニヤフ氏の連立工作が失敗すれば、青と白代表のガンツ氏が大統領から組閣を指示される可能性はあったはずですが、それを阻むためリクードなどが国会解散に走ったことを、青と白は「民主主義に対する攻撃」と非難しましたが、では青と白が多数派を形成することができたでしょうか。

## 再選挙後の連立政権に注目

右派に対抗する中道左派・左派政党の4月選挙の獲得議席は、青と白35、労働党6、メレツ4の計45議席。計10議席を持つアラブ政党は内閣に加わったことはありませんから、国会で過半数の61議席を超えるには右派政党か宗教政党を取り込む、あるいはリクードとの大連立を考えねばなりません。しかし、和平問題でパレスチナとの二国家共存に反対したり、ヨルダン川西岸のユダヤ人入植地拡大・イスラエルへの併合に賛成したりする政党と組もうとすれば、自陣営に強く反発する政党や議員が出たでしょう。宗教政党との連立には、左派系の支持者の中に多いと思われる世俗派が反対したでしょう。

和平派が現在の勢力で政権を握るのは難しいのが現実です。9月の再選挙で大幅に得票を伸ばすしかなないのですが、ネタニヤフ氏を支える右派を選んだ選挙民が、どっと和平支持に回る可能性は低いと言わざるを得ません。和平問題への関心を高めるような、劇的な情勢の変化が起きれば別ですが、当面の関心は、右派政党の中で超正統派の徴兵をめぐる賛否が議席配分に影響を与えるかどうか、そして汚職疑惑のネタニヤフ氏が起訴されるかどうか、に向かいそうです。

再選挙という思わぬ事態が、連立政権の構成に変化をもたらすかどうか、予断は避けましょう。

# 2019年度 総会のご報告

当法人の総会が去る6月16日15時～17時に行われ、  
2018年度の事業報告書及び収支決算書、  
2019年度の事業計画書と予算書について承認されました。

## 2018年度 活動計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位:円)

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	396,000	
賛助会員受取会費	7,676,342	8,072,342
【受取寄付金】		
受取寄付金	2,884,695	
施設等受入評価益	1,620,000	
ボランティア受入評価益	120,000	4,624,695
【受取助成金等】		
受取助成金	429,384	
受取補助金	700,000	1,129,384
【事業収益】		
参加料金収益	5,798,220	
自主事業収益	472,000	6,270,220
【その他収益】		
受取 利息	11	
為替 差益	10,301	
雑 収 益	176,600	186,912
経常収益 計		20,283,553
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料 手当(事業)	2,033,200	
ボランティア評価費用	120,000	
人件費計	2,153,200	
(その他経費)		
業務委託費	299,160	
諸 謝 金	1,483,234	
印刷製本費(事業)	430,717	
会 議 費(事業)	54,631	
旅費交通費(事業)	976,950	
旅費海外(事業)	4,044,888	
車 両 費(事業)	72,759	
通信運搬費(事業)	471,401	
消耗品 費(事業)	435,640	
賃 借 料(事業)	210,642	
施設等評価費用	180,000	
保 険 料(事業)	10,800	
支払手数料(事業)	16,038	
支払助成金	3,264,423	
支払寄付金	218,762	
為替 差損	1,563	
その他経費計	12,171,608	
事業費 計		14,324,808

【管理費】		
(人件費)		
役員 報酬	2,340,000	
給料 手当	758,800	
法定福利費	441,424	
通 勤 費	210,032	
人件費計	3,750,256	
(その他経費)		
印刷製本費	10,800	
会 議 費	8,744	
旅費交通費	48,084	
通信運搬費	204,752	
消耗品 費	267,687	
修 繕 費	13,000	
水道光熱費	48,946	
事務所家賃評価費用	1,440,000	
広告宣伝費	56,787	
新聞図書費	1,256	
諸 会 費	50,000	
租税 公課	1,200	
支払手数料	149,753	
その他経費計	2,301,009	
管理費 計		6,051,265
経常費用 計		20,376,073
当期経常増減額		△ 92,520
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 92,520
経理区分振替額		0
当期正味財産増減額		△ 92,520
前期繰越正味財産額		2,541,479
次期繰越正味財産額		2,448,959

【活動計算書の注記】 自主事業収益には、イベント収益を含む

施設等受入評価益及び施設等受入評価費用は、理事長からの事務所無償提供分の評価額を同額計上

# 支援団体・支援者のお名前

対象期間：2018年4月1日～2019年3月31日(敬称略 匿名希望の方のお名前は省かせて頂きました。)

## 支援団体

医療法人 かどもと眼科  
医療法人 白岩医院  
栄光学園 愛の運動委員会  
援助修道会 市谷修道院  
援助修道会  
援助修道会 六甲修道院  
幼き聖マリア修道会  
オタワ愛徳修道女会 管区本部  
オタワ愛徳修道女会 一関修道院  
お告げのマリア修道会  
カトリック片瀬教会  
カトリック北広島教会  
カトリック吉祥寺教会 聖地のこどもを支える会  
カトリック葛西教会ゆりの会  
カトリック金剛教会  
カトリック鷺沼教会内古着プロジェクト  
カトリック碑文谷教会  
カトリック富良野教会  
カトリック・フランシスコ聖クララ会 大修道院  
カトリック細江教会 信徒 中野スエ子  
カトリック松戸教会 コスモスの会  
カトリック松原教会  
カトリック桃山教会  
カトリック行橋教会  
カトリック百合ヶ丘教会コーヒーコーナー  
木村洋行 株式会社  
キリスト・イエズスの宣教会  
汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道女会  
厳律シトー会 天使の聖母トラピスチヌ修道院  
厳律シトー会 那須の聖母修道院  
厳律シトー会 燈台の聖母トラピスト大修道院  
小金井聖公会教会  
坂出聖マルチン病院  
サンシティ聖母幼稚園  
宗教法人 カトリックイエズス会  
宗教法人 カトリック女子跣足カルメル修道会  
宗教法人 純心聖母会  
殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会  
女子跣足カルメル修道会  
女子跣足カルメル修道会 聖ヨゼフ修道院  
女子跣足カルメル修道会 山口修道院  
聖心の布教姉妹会 本部  
聖ドミニコ宣教修道女会 坂出聖マルチン修道院  
聖パウロ女子修道会  
聖フランシスコ病院修道女会 姫路修道院

聖フランシスコ病院修道女会 長崎修道院  
聖ベネディクト女子修道院  
聖母奉献修道会  
東京カルメル会 女子修道院  
ドミニコ会 本部事務所  
ドミニコ会 聖ヨゼフ修道院  
日本キリスト教団 白鷺教会  
日本基督教団 まぶね教会  
ノートルダム学院小学校 ボランティアサークル  
福音史家聖ヨハネ布教修道会  
フランシスコ会 日本管区  
ベルナデッタ第一修道院  
マリアの御心会  
目黒サレジオ幼稚園  
横浜雙葉小学校 父母の会  
レデンプトリスチン修道院

(61団体 順不同)

## 支援者

Harvey Paul A.S.	池永 廣美	飯田 ルナ
Nguyen thi hoa	磯部 雅子	伊藤 夏代
Roger Provencher 神父	市川 黎子	伊地知 広美
青山 美恵子	井手 公平 神父	井上 真弓
浅沼 誠子	伊藤 多恵子	石黒 亮
東 純子	井上 千賀子	岩館 和子
東 幸江	井上 弘子	磯部 裕子
新 圭子	井上 ちひろ	勇 一人
新井 栄一	井上 静子	今井 弘美
荒川 淑	井上 志帆子	稲葉 健典
天野 直秀	石田 知子	今村 宏子
阿部 圭子	石井 直子	岩崎 正幸
相葉 清美	泉 知子	岩崎 守
天田 雄次	石原 淳一	岩田 卓三
有田 美江	飯島 喜久江	岩永 千代子
浅井 明子	井口 美紀	岩本 憲綱
赤崎 克俊	板橋 虎徹	上西 博
荒井 功	磯部 起与子	植村 惇子
荒井 美佐子	石澤 雅士	白井 信子
五十嵐 洋枝	乾 盛夫	宇野 節生

梅原 彰	勝原 孝子	後藤 幸	セドン 菜穂子	出川 展恒
海堀 真紀	加藤 和子	後藤 秀次	園部 瑞穂	寺尾 澄江
浦田 むつみ	加藤 喜代子	コーナン・ミッシェル神父	高馬 和子	テヨドル メニツヒ 神父
遠藤 恵美子	加藤 恵子	小西 一枝	高島 友子	天明 恭子
遠藤 香恵子	加藤 千恵子	小西 羊一	高島 文枝	遠山 満 神父
栄林 ヒサ子	門口 敏子	胡 美喜子	高瀬 紀子	戸井 利子
遠藤 久夫	門口 昭博	小林 徹也	高瀬 将章	得田 照
江沢 逸子	金澤 良子	小林 美紗子	高田 世津	戸澤 華江
江場 仁美	金子 由佳	小林 光子	高田 留奈子	富崎 之夫
及川 幸子	加納 貞彦	維康 さちほ	高野 千草	富崎 桃子
大泉 廣	蕪木 利夫	近藤 加奈子	高橋 泉	富田 道代
大澤 由紀子	鎌田 英明	近藤 緑	高橋 和子	内藤 和子
太田 輝男	鎌田 まさ子	細工藤 真理	高橋 佳代子	中井 さつき
太田 晴子	釜谷 公子	西勝 恵子	高橋 君子	中尾 有希
大塚 哲雄	河合 美智子	西勝 健夫	鷹觜 達衛 神父	中小路 和子
大西 茂雄	川口 節子	斉藤 直子	高橋 登志子	中澤 リナ
大西 美恵	川野辺 裕之	坂井 陽子	高平 たつみ	中島 紀史子
大野 直美	川本 和子	榊原 和子	高山 京子	中島 敏夫
大八木 汜子	瓦 妙子	榊原 祥子	田川 照子	長坪 光
大和田 晶子	菅野 滋子	坂口 泰子	柘植 薫	中島 絹子
大和田 義郎	菊池 鈴子	佐々木 郁子	田口 加寿子	長瀬 裕美
岡 晶子	北 達夫	佐々木 ふみ子	竹脇 美帆子	中野 幸子
岡島 順子	北岡 真理子	佐多 保彦	田島 久仁子	長野 浩二
岡田 光浩	北楯 暢子	薩田 寿隆	田制 則子	中村 季子
岡部 浩典	北原 豊子	佐渡 一邦	城トミ子	中村 寿美
小川 千枝子	木村 浩之	佐藤 朝子	伊達 由美子	中村 ミツノ
輿石 修古	木村 靖子	佐藤 克裕	建部 正秋	中本 徹信
奥西 美保子	木村 護朗	佐藤 光子	立脇 和夫	中本 由希子
奥村 聡	木村 聡子	佐藤 美津子	田中 節子	中山 晃
尾崎 一三	喜山 聖子	佐野 澄子	田中 伸枝	中山 宏
小澤 知江子	国峰 恵子	澤 美由紀	Sr. 田中 範子	永吉 恵子
忍足 淑子	熊谷 マリ子	島田 みち子	田中 弘子	中山 夕里亜
小田 淳	クラシマ タカオ	宿澤 恵子	田中 美帆	野口 裕之
小田 功司	倉田 昌子	ジョンソン デソーサ	谷 ちあら	野田 健太郎
小沼 昌良	栗栖 徹	白井 美代	谷 弘子	野田 征子
小野 修	栗田 健治	白水 明代	谷口 寿美枝	野田 由利
小谷野 泰	栗原 健	神野 裕美	谷山 正恵	野村 智美
小野 佐代子	黒田 道子	鈴木 國弘	玉川 幸子	野村 泰樹
恩地 節子	黒滝 津哉子	鈴木 幸子	田村 久恵	箱田 昌平
柿崎 ゆか子	小出 宏子	鈴木 絢子	武井 範子	橋本 和子
角田 和子	杠 愛子	鈴木 登喜子	田口 幾子	波多江 優子
葛西 咲子	杠 隆志	鈴木 典子	田中 博	波多野 輝栄
笠松 仁美	小坂田 さち子	清藤 富世	丹呉 喜美子	畠山 理穂
春日 圭子	小塩 恒子	関口 素子	塚田 道子	服部 英子
カーステン ワグナー	小嶋 光恵	関 安幸	土屋 美和子	花田 俊信
加地 貴美子	古杉 絢	瀬川 眞佐子	筒井 順慶	濱中 智子



- |           |        |         |         |            |
|-----------|--------|---------|---------|------------|
| Sr. 早川 昌江 | 藤原 伸子  | 丸山 陽子   | 矢島 友子   | 吉田 恵子      |
| 林 一江      | 藤原 真理子 | 三上 成子   | 安江 則子   | 吉田 とし子     |
| 林 香保里     | 藤井 明子  | 三島 八重子  | 安田 美知子  | 吉田 三代江     |
| 林 敏恵      | 淵上 恂子  | 水野 遥    | 柳下 宇一   | Sr. 吉田 有子  |
| 葉山 文子     | 古田 瑩子  | 水野 真由美  | 山内 春治   | 吉田 友一      |
| 原 桂子      | 古本 佳世子 | 溝口 泰子   | 山岡 節子   | 吉田 良子      |
| 原科 節子     | 古屋 恵子  | 光藤 操    | 山川 玲子   | 吉村 糸子      |
| 原田 ゆう子    | 星 昇次郎  | 宮川 園絵   | 山口 千里   | 米嶋 洋子      |
| 半田 和巳     | 星村 美絵子 | 三宅 哲子   | 山崎 彰    | ラザフォード 貴美子 |
| 一重 弥生     | 細谷 正子  | 宮田 靖子   | 山崎 榮太郎  | 和田 昌子      |
| 平木 朋世     | 堀田 静穂  | 宮野 美智子  | 山崎 久美子  | 渡辺 恵美子     |
| 平賀 徹夫 司教  | 堀 正巳   | 三好 和枝   | 山下 光子   | 渡邊 公伸      |
| 深澤 美知子    | 堀口 明美  | 向井 喜代美  | 山下 ヨシフミ | 渡邊 こずえ     |
| 深田 久子     | 本田 江身  | 村井 文彦   | 山下 るみ子  | 渡部 朋子      |
| 深津 利子     | 本田 維憲  | 村上 宏一   | 山田 康子   | 渡部 美佐子     |
| 深堀 初子     | 本間 早苗  | 本橋 淑子   | 山田 千秋   | 渡部 満       |
| 福井 潔      | 本間 攝子  | 望月 美代乃  | 山本 恵美子  | 渡邊 禮子      |
| 福崎 順栄     | 牧瀬 翠   | 森 恵子    | 山本 勝也   | 渡辺 陽子      |
| 福島 由香子    | 馬越 由美  | 森 達哉    | 山本 幸子   |            |
| 福瀬 くんに子   | 眞下 まゆみ | 森川 久美子  | 山本 浩    | 匿名 9名      |
| 福田 青柳     | 榎居 文子  | 森本 明子   | 横道 昭光   |            |
| 福田 幸子     | 増満 由美子 | 森谷 啓子   | 横山 真希子  |            |
| 藤井 素子     | 松山 純子  | 森谷 明子   | 吉川 英子   |            |
| 藤田 春美     | 松山 律子  | 薬師寺 陽子  | 吉川 八重子  |            |
| Sr. 藤本 保子 | 馬渡 二嘉  | ヤジマ アヤコ | 吉田 邦子   | (418名 順不同) |

## イスラエル・パレスチナ 2020スタディ・ツアーのお知らせ

イスラエル、パレスチナを訪ねて、聖地と世界の平和を考えるツアー「平和を願う対話の旅」、2020年も実施します！日本の若者ととも、皆さんが支援して下さっている子どもたちに会いにいらっやいませんか？

支援者・里親の皆さまのご参加をとくに歓迎いたします。

### 【プログラム】

エルサレム、ベツレヘム、テルアビブで、現地の子どもたち、青年たちと交流します。学校や各種施設を訪問、難民キャンプ、分離の壁や検問所の見学、死海観光など盛りだくさん、学生は各地でホームステイも体験します。

日 時：2020年3月12日～3月23日(予定)

参加費：約370,000円(おとな) 約300,000円(学生)

お申込み期限：2019年10月中旬



ご希望の方はなるべく早くご連絡ください。  
お問合せは当法人事務局へ

TEL 03-6908-6571

090-6538-3255

E-mail [ispalejpn@gmail.com](mailto:ispalejpn@gmail.com)

詳しくは当法人のHPをごらんください



▲ ヘブライ大学から望むエルサレム。

街で出会った子どもたち



▲ サルフィート 折り紙教室。



▲ ダウン症の子もたちのために、パレスチナ伝統のダンス「ダブケ」を踊る若者たち。(ラマッラ)



▲ 家族祭りの一コマ。(ラマッラ)



▲ テルアビブ、カルメル市場の入り口。



▲ おめかしして洗礼式。(ラマッラ)



▼ 分離の壁。 分離の壁の落書き。▶



▲ 嘆きの壁金曜日の祈り。